

## (2) 環境まちづくり

熱をためやすいアスファルトやコンクリートに覆われ、自動車や建物の空調システムなどから大量の熱が排出される都市部では、熱帯夜や真夏日が増加し、熱中症や健康被害のリスクが増大し、冷房需要の増加によるエネルギー使用量の増大、光化学スモッグ発生の増加などの影響が懸念されます。豊島区でも、ヒートアイランド現象への対応策を強化していきます。

- (1) 人工的な被覆面や建物からの排熱などの顕熱を低減させることにより、地区・街区スケールにおける高温化を抑制します。
- (2) 緑地の保全・再生やネットワーク化、風の通り道の確保など、自然の力を活用した環境負荷の低い都市づくりを推進します。

### グリーンとしま再生プロジェクト → 緑が少ない高密度都市だからこそその挑戦

平成21、22年度、区立小中学校及び区公共施設において、植樹を実施しました。今後も、公園等へのみどりの拡大、まちなか緑化を推進し、区民、事業者、行政がそれぞれの立場で緑化を推進するムーブメントを拡大していきます。

10年で10万本を目標に  
毎年1万本の苗木を植樹します。

### 地域ぐるみで緑被率の向上に取り組めます

道路の緑化

建築物の屋上緑化

植樹運動の展開

地区計画制度による緑化推進

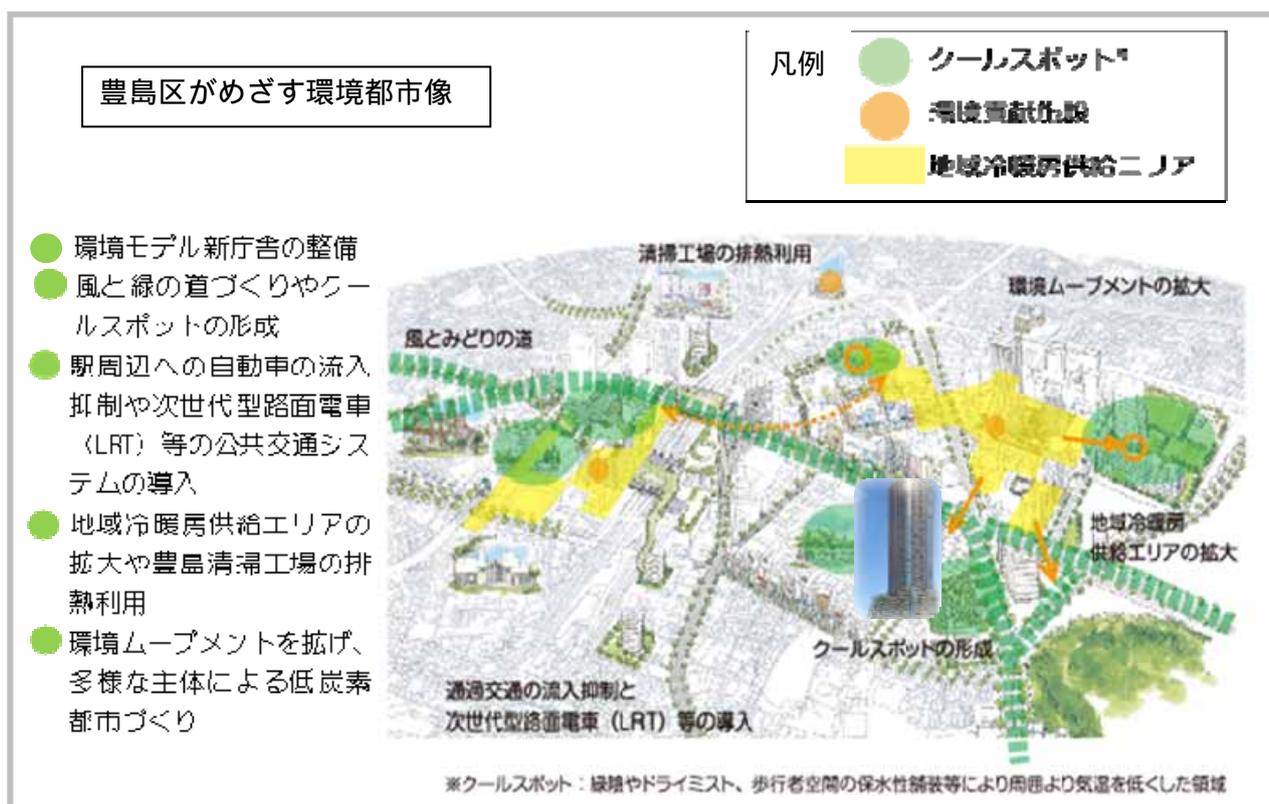
大学、寺社、霊園等の緑の保全・活用

幹線道路の「グリーン・ロード」化

商店街等まちなか緑化の推進

公共施設の緑化、小中学校校庭の芝生化

「みどりの条例」「アメニティ形成条例」の活用



## 6 都市再生

池袋副都心では、環状5の1号線、補助81号線、補助173号線など都市計画道路の整備が大きく進みつつあります。新庁舎建設が具体化する一方、東西デッキの整備、LRT構想など、池袋副都心は今後大きく生まれ変わる可能性を秘めています。

日本一の高密都市の中で、これからの超高齢化社会に備え、価値ある都市を築き、培われた「歴史や文化」を、世代を超えて大切に引き継いでいく仕組みをつくっていきます。そのために、地域の繋がりにある地域コミュニティの形成を基本とした上で、生涯健康都市、環境都市、文化創造都市を築きながら、集大成である安全・安心を確保していきます。

豊島区は、区内の各地域に豊かな歴史と文化資源を持つまちです。区内の地域ごとに個性ある「地域ビジョン」づくりを進め、持てる個性と魅力を引き出すことで、「住みたいまち、訪れたいまち」を実現していきます。

### 西部地域

旧千川小学校跡地  
公園等整備計画

第十中学校跡地  
屋外スポーツ施設  
の整備計画

平和小学校跡地  
西部地域複合施設  
の整備

椎名町駅周辺整備

長崎中学校跡地  
(仮称)南長崎中央公園の整備

西部地域は、第十中学校跡地を活用した屋外スポーツ施設、平和小学校跡地を活用した地域複合施設、長崎中学校跡地を活用した南長崎中央公園を整備します。

椎名町では、駅舎と駅前の改善だけでなく、椎名橋の桁下空間に駐輪場と広場を整備することに加え、トキワ荘やアトリエ村などの文化資源を取り入れたまちづくりを進めます。

南部地域は、池袋駅周辺の自動車混雑の解消と、緑豊かな地上道路の整備により雑司が谷地区の生活環境を守るための環境整備に向けて、環状5の1号線地下道路の整備が本格的に動き出す他、目白小学校の改築や高田小学校跡地の公園整備を進めます。

文化

文化によるにぎわいの創出

ユニバーサル  
デザイン

都市  
再生

人と環境への優しさ

環境

補助173号線

西口駅前街区まちづくり

立教大学

東京芸術劇場

東西デッキ

池袋駅

四池袋

南部地域

目白小学校の  
改築計画

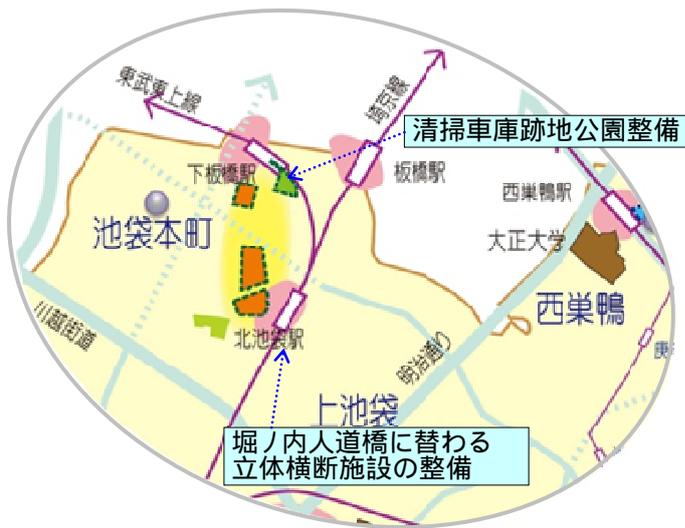
環状5の1号線  
地下道路

高田小学校跡地  
公園整備計画

環状4号線の整備

## 北部地域

北部地域は、下板橋駅近くの清掃車庫跡地を公園として整備します。東武東上線とJRを跨ぐ老朽化した堀ノ内人道橋は、立体横断施設として整備します。



～文化と活力、みどりにあふれ  
新たなチャレンジの舞台となる「まち」池袋～

## 東部地域

東部地域は、大塚駅で南北自由通路が開通しましたが、引き続き、駅から街へとつながる歩行者優先の街づくりを展開します。南口に地下駐輪場と駅前広場を整備し、その後、北口駅前広場の整備に着手する予定となっています。



## 重点行動目標『池袋のチャレンジ』

- チャレンジ1 池袋駅とその周辺を再生する
- チャレンジ2 文化を創造・発信する
- チャレンジ3 環境対策を率先する
- チャレンジ4 交流をはぐくむ舞台をつくる

